

**製品名: RPA32 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02549**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.6mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 29 kDa; Observed MW: 29 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RPA2
別名	60S acidic ribosomal protein P1; AA409079; AI325195; AU020965; HSSB; ik:tdsubc_2g1; M(2)21C; MGC137236; OTTHUMP00000004008; p32; p34; RCJMB04_6d17 replication protein A2; 32kDa; REPA 2; REPA1; REPA2; Replication factor A protein 2; Replication protein A 32 kDa subunit; Replication protein A 32kDa subunit; Replication protein A 34 kDa subunit; Replication protein A; replication protein A1 (70kD); Replication Protein A2 (32kDa); Replication protein A2 32kD; Replication protein A2 32kDa; Replication protein A2; Replication protein A2; 32kDa; RF A; RF-A protein 2; Rf-A2; RFA; RFA2_HUMAN; RP A; RP-A

p32; RP-A p34; RP21C; RPA 2; RPA 32; RPA; RPA2; RPA32; RPA34; RPA70; RpLP1; RpP2;  
xx:tdsubc\_2g1; zgc:109822.

遺伝子 ID	6118
SwissProt ID	P15927
免疫原	ヒト RPA32/RPA2 の合成ペプチド

## 背景

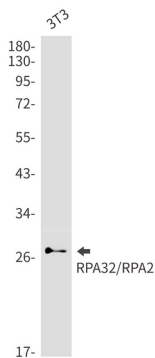
ヘテロ三量体複製タンパク質 A 複合体 (RPA/RP-A) の一部として、DNA 複製中または DNA ストレス時に形成される一本鎖 DNA 中間体に結合し、安定化させます。RPA はそれらの再アニーリングを阻害すると同時に、DNA 代謝に関与する様々なタンパク質や複合体をリクルートし、活性化します。これにより、RPA 複合体は DNA 複製と DNA 損傷に対する細胞応答の両方において重要な役割を果たします。DNA 損傷に対する細胞応答において、RPA 複合体は DNA 修復と DNA 損傷チェックポイントの活性化を制御します。

## 研究分野

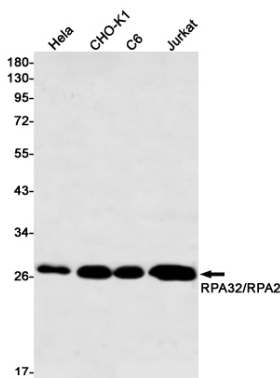
エピジェネティクスと核シグナル伝達

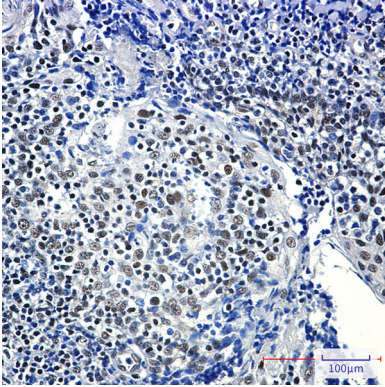
## 画像データ

RPA32 抗体を使用した 3T3 溶解物中の RPA32/RPA2 のウエスタンブロット分析。



RPA32/RPA2 抗体を使用した、Hela、CHO-K1、C6、Jurkat 溶解物中の RPA32/RPA2 のウエスタンブロット分析。





RPA32/RPA2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。